

Akagane Art Crossing
'home'

造形作家

現代美術家

日野 譲 × 伴野 久美子

展覧会記録集

秋季企画展
あかがねアート・クロッシング
日野 譲×伴野 久美子 - 'home'

会期
2022.9.10 (sat) - 10.10 (mon)

会場
新居浜市美術館 展示室 1









HINO, Yuzuru

日野 譲

‘home’——人生、次元、感動

〔作者のことば〕

今回展示の基本は、真実の追求、それは遠くにあるものではなく、誰でも手の届く近くにあることの気づきです。自分にも出来ると思えば、行動を起こし、人生が変わります。人間の大切なもの？それは本人の歴史であり、感動です。言葉で表せない感動こそ視覚芸術の本質を秘めています。勝手な個人の生き様ではありますが、なにか共通した生き方があり、参考になれば幸いです。







BANNO, Kumiko

伴野 久美子



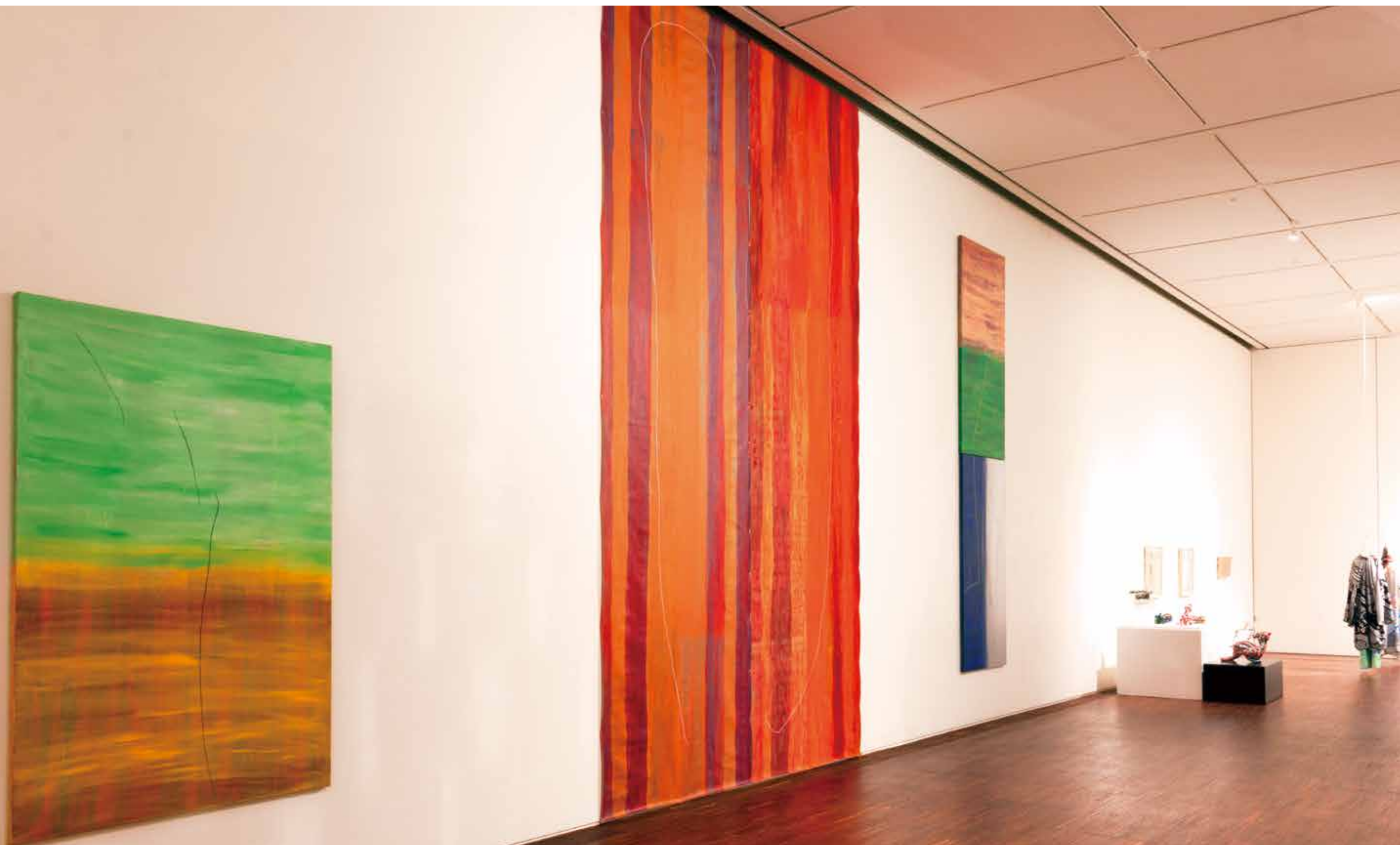
‘home’——ひと、とき、ところ

〔作者のことば〕

展覧会のタイトルは紛争終息への祈りを込めて ‘home’ としました。人が住んでいる場所、あるいは人のルーツがある場所に関係すること、またはその場所にいるさま、という 意味もありました。選りすぐりの舞台プログラム「初源」シリーズの3つ（能、虚無僧尺八、ピアノ & 和琴）を新居浜バージョンでお届けします。作曲家の藤枝守さん、写真家の前谷開さん、新居浜ゆかりの方々が繋がりました。おたのしみいただけます幸いです。







日野譲
Akagane Art Crossing 'home' 作品制作風景



伴野久美子プロデュース
Akagane Art Crossing 'home' 関連パフォーマンス「初源」シリーズvol.2 現代と古典

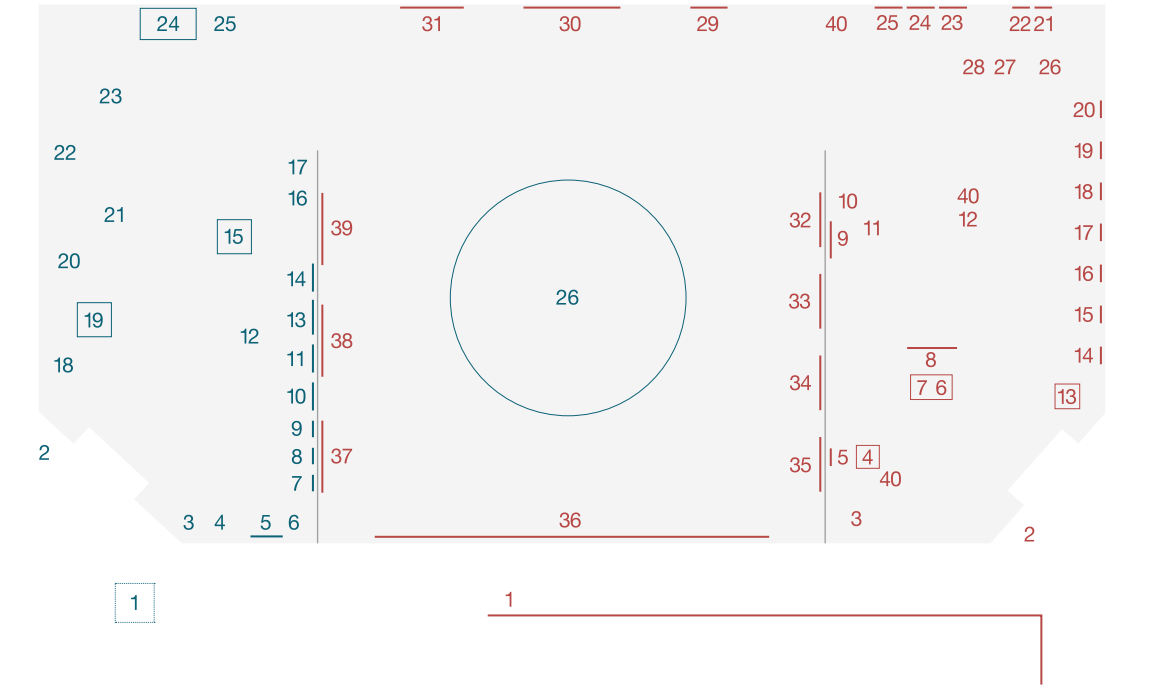
*QRコードから記録画をご覧ください。



Map / List of Works

会場マップ / 作品リスト

凡例
・本リストは展覧会に出品された作品の一覧である（一部小作品を除く）。
・作品情報は作家より提供のあった資料に基づき表記した。



日野 譲 HINO, Yuzuru

No.	作品名	制作年	材質・技法	備考
1	伝達システムの構造	1992–2022	鉄	「マイントピア野外展」(1992) 出品作
2	おやじ番人	1965	木	
3	シンプルアンドン	2022	不織布・電球	
4	木の枝 ヤジロベー	2022	木・長ネジ	
5	CGの花達	2000	ワイヤーフレーム・手描マッピング画像	
6	光のもれるアンドン		銅・ブラズマ加工	
7	デジタルリンゴ	1983	ライトペンによる描画	
8	月に帰る日		銅板	
9	銅 連作	2015頃	銅	
10	《先端軌動》作品写真	2012	印画紙	* 新居浜工業高等専門学校 50周年記念モニュメント
11	《地底百花》作品写真	2003	印画紙	
12	白い卵	2014	紙・ポリビニール加工	「第7回 いの美術展」(2014) 紙部門特選受賞作
13	《時空》作品写真	1975	出力紙	「愛媛の101人展」(1975) 出品作（現存せず）
14	《宝銅》作品写真		印画紙	
15	月の風	–2002頃	プリント基板・銅パイプ	
16	天空の傘		銅・木枝	
17	水面花	2010頃	銅板・紙・水	
18	黒い指揮者		木・バーナー	
19	BALANCING BIRD	1983	木・ステンレス	「愛媛の現代作家秀作展」(1983) 出品作
20	霧の誕生	2010頃	銅	
21	緑を呼ぶ翼		銅板・銅パイプ	
22	銅モニュメント 試案	2018	銅・木材	
23	月のはじまり	2010頃	銅	
24	地底百花	2003	ミクストメディア	* マイントピア別子 銅婚の里記念作
25	足長鳥	2010頃	銅パイプ	
26	新作インスタレーション	2022	ミクストメディア	* タイトル未定

伴野 久美子 BANNO, Kumiko

No.	作品名	制作年	材質・技法	備考
1	伴大納言絵巻 デジタルアーカイブより	2019	印画紙・アクリル・岩絵具	
2	アンドレ・ジャッカル 宝塚歌劇団「ヘルサイユのぼら」より	2014	布・ボタン	
3	光彩	2022	カンヴァス・アクリル	
4	フローラ	2017	ガラス	
5	響彩 「银杏散る バックミラーの街に散る」	2017	シースルー掛軸	俳句：森澤雨
6	雛人形 …を再起動	2019		明治天皇のお写真を参考に。
7	雛人形 …を再起動	2019		昭憲皇太后のお写真を参考に。
8	紫紺 (バイオレット)	2019	麻紙・アクリル・岩絵具	
9	機縁	2020	カンヴァス・アクリル	
10	機縁	2020	京絞り・ペインティング	
11	あかり		不織布・シルクスクリーン	
12	あかり		不織布・シルクスクリーン	
13	響彩 「末黒路に 瓶あり水をたたへつ」	2017	シースルー版画	俳句：森澤雨
14	響彩 「ビル灯る 春のシュウ雨の過ぐるとき」	2017	金属版画(アルミニウム・コルク)	俳句：森澤雨
15	響彩 「石庭は 抽象アート(アブストレクト) 冬の海」	2017	金属版画(亜鉛・コルク)	俳句：森澤雨
16	響彩 「枯菊を 焚く浄火とも 業火とも」	2017	金属版画(亜鉛・コルク)	俳句：森澤雨
17	響彩 「春水として 砂に湧き 砂に漂ゆ」	2017	金属版画(アルミニウム・コルク)	俳句：森澤雨
18	響彩	2017	金属版画(真鍮)	
19	響彩	2017	金属版画(真鍮)	
20	響彩	2017	金属版画(真鍮)	
21	響彩 (片岡愛之助丈お見立て 松嶋屋定紋 追いかけ五枚银杏)	2021	金属版画(真鍮)	
22	響彩 (片岡愛之助丈お見立て 松嶋屋定紋 银杏)	2021	金属版画(真鍮)	
23	機縁	2016	ペインティング(カンヴァス・アクリル)	No.23～25は3点で1作品
24	機縁	2016	金属版画(アルミニウム)	
25	機縁	2016	ペインティング(カンヴァス・アクリル)	
26	機縁	2020		京絞り・寺田とのコラボレーション
27	機縁	2020		京絞り・寺田とのコラボレーション
28	機縁	2020		京絞り・寺田とのコラボレーション
29	光彩	2022	カンヴァス・アクリル	
30	‘home’ 緋色	2022	カンヴァス・アクリル、岩絵具	
31	光彩	2021	カンヴァス・アクリル	
32	光彩	2018	カンヴァス・アクリル	
33	光彩	2018	カンヴァス・アクリル	
34	光彩	2021	カンヴァス・アクリル	
35	光彩	2021	カンヴァス・アクリル	
36	‘home’ 多彩	2022	カンヴァス・アクリル	
37	光彩	2015	カンヴァス・アクリル	
38	光彩	2015	カンヴァス・アクリル	
39	光彩	2015	カンヴァス・アクリル	
40	グログランズ ホフマン「胡桃割り人形と廿日ねずみの王様」より	2012–	グログラン・リボン・ボタン (ボタンズファクトリー 長瀬清美ハンドメイド作品ほか)	

Event

展覧会関連イベント

*各QRコードから関連イベントの記録動画をご覧いただけます。

① アーティストトーク

2022.9.10 (sat) 13:30-14:30 @展示室1



伴野 久美子 BANNO, Kumiko

1955年愛媛県新居浜市生まれ。新居浜西高等学校、甲南大学経営学部卒業。77年ローズガーデン美術公募展に入選し、78年審査員であった具体美術協会会員・現代美術家の元永定正に師事。吉原治良賞美術コンクール展、現代日本美術展、日本国際美術展、朝日現代クラブ展等入選。80年以降毎年個展を開催。87年ホルベイン・スカラシップ奨学者。『90' 93兵庫の美術家展』『02倉敷屏風祭』等招聘。92年から金属作品、93年から舞台プロデュース、08年から京紋り・寺田と共同作品を手がける。法泉寺（新居浜市垣生）に両界種子曼陀羅とハイテクマンダラを奉納。大阪芸術大学元非常勤講師、慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座講師等。滴翠美術館、大手前学園、甲南学園、市立伊丹ミュージアムほか収蔵。神戸市在住。http://www.bankumi.com



日野 譲 HINO, Yuzuru

1936年愛媛県西条市生まれ。西条高等学校卒業後、神戸で電気技師として働くかたわら神戸新聞文化センターに通い、小松益喜、津高和一らから美術を学ぶ。63年以降、新居浜に拠点を移し、西原元らが設立した新居浜美術研究会に加入。68年「新居浜在野グループ」に参加。松山在住の具体美術協会会員・坪内晃幸の知遇を得て『69具体美術新人展』に出品・入選。『愛媛野外美術展』（'69, '70）『愛媛現代美術の現況展』（'70）『愛媛の101人展』（'75）等に出品。75年「アーティスト・ユニオン愛媛」の発足にも加わり、愛媛の前衛美術シーンの中心で活動続ける。銅をはじめ、木材、布、ビニール、CG など、多様な素材とメディアから、自然や宇宙とのかかわりをテーマとした造形作品を制作している。新居浜市在住。



② トークセッション「阪神間↔愛媛—前衛美術家たちの挑戦」

2022.9.23 (fri) 14:00-16:30 @市民ギャラリー

■トーク1

「阪神間」の前衛—「関西の戦後美術 1950年代～1980年代」

【講師】坂上義太郎氏（BBプラザ美術館顧問・元伊丹市立美術館長）



■トーク2

「愛媛」の前衛—「えひめもう一つの流れ 1965～1985 美術からアートへ」

【講師】矢野徹志氏（美術家・愛媛県立美術館初代学芸員）



■トーク3

「阪神間↔愛媛」地方の前衛について思うこと—

【パネラー】坂上義太郎氏、矢野徹志氏、日野譲氏、伴野久美子氏 【進行】井須圭太郎（当館学芸員）



③ トークセッション 関連アーカイブ展示

2022.9.23 (fri) — 9.25 (sun) @市民ギャラリー



秋季企画展

あかがねアート・クロッシング
日野 譲×伴野 久美子ー‘home’

〔 展覧会 〕

会期

2022.9.10 (sat) — 10.10 (mon)

会場

新居浜市美術館 展示室 1

主催

新居浜市美術館

担当

井須 圭太郎（新居浜市美術館学芸員）

高橋 美瑛（新居浜市美術館学芸員）

〔 記録集 〕

編集

井須 圭太郎

高橋 美瑛

デザイン

高橋 美瑛

写真撮影

伴野久美子（p.1、p.3下段、p.6、p.18～21、p.25上・中段、
p.28②トーク1右、p.29②トーク2右、p.29③下段右）

山下郁夫（p25下段）

その他はすべて新居浜市美術館

新居浜市美術館

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町 2-8-1

